



RI 会長/李 東健  
ガバナー/片山 主水  
会長/熊谷多津旺  
幹事/山口 直彦  
クラブ情報委員長/尾本 和弘

[名古屋東南ロータリークラブ]  
承認/1969年3月12日  
事務局/名古屋マリオットアソシアホテル  
〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号  
名古屋マリオットアソシアホテル 2203号  
TEL.052-583-0010 FAX.052-583-0009



## ガバナー公式訪問 3RC合同例会

於:ヒルトン名古屋 ホスト:瑞穂RC

### 1941 回例会

2008年9月25日(木) 晴 第12回

斉唱 「四つのテスト」

出席 会員 94名 出席 48名

出席計算人数 91名

出席率 52.75% 前々回修正出席率 79.12%

ビジター (サイン)

大垣西 RC 種田 実君 他 33名



### 会長代表あいさつ

(瑞穂 RC 会長 松井 善則君)

本日は、南 RC さん、東南 RC さん、瑞穂 RC、3クラブ合同で片山ガバナーをお迎えして、地区方針などをお話しいただく例会日でございます。

本年度、私ども瑞穂 RC はクラブとして自信を持って、ガバナー補佐として近藤雄介さんを推挙させていただきました。12クラブを、ガバナーより前の日にちに、近藤ガバナー補佐が訪問しているわけです。私はこれを「露払い」と申しておりますが、ガバナーが訪問なさったときに、本当にガバナー補佐の露払いができていたかどうかと思ひ、ちょっとこの件を申し上げました。お食事が終わってからガバナーにいろいろな地区方針をお聞きしたいと思います。

### 幹事報告

(幹事 山口 直彦君)

- 10月1日例会会場は、51階の「シリウス」に変更になります。クラブフォーラムの担当は米山奨学委員会です。
- 10月度の理事・役員会会議は、13時40分例会終了後、17階の「桂」で開催します。理事、役員のか

たは出席をよろしく願います。

### ニコボックス

\*片山ガバナーをお迎えして

福島 啓氏君	堀田 一郎君	堀田 努君
石丸 洋君	伊藤 和夫君	伊東與有三君
岩崎 誠二君	兼子 誠吉君	川田美代子さん
鬼頭 弘君	小玉 秀男君	近藤 信之君
久野 博淳君	牧野 弘明君	南雲和江さん
仲村 忠彦君	尾本 和弘君	大西 弘高君
清水 利男君	杉浦 巨君	住田 和海君
鈴木 雅雄君	竹澤直美さん	上村 恭司君
松田 實君	奥出真紀夫君	彦坂紀都さん

\*8月末から9月にかけてロンドン音楽紀行を楽しみ、無事に帰国しました。

堀田 一郎君  
本日合計 32,000円 累計 574,110円

### 卓 話

●国際ロータリー第2760地区ガバナー 片山 主水氏  
「夢をかたちに」という RI のテーマがありまして、私のテーマは「持続可能な前進」であります。足りないところは補いましょう、有り余るところは譲りましょう、曲がったところ、いびつなところは、きちんとまっすぐにしましょう、きれいな形にしましょう。それから「不易流行」をきちんと見分けて、持続可能な前進に挑みましょうと、そういう気持ちがこの中に入っております。それを皆様で取捨選択して、臨機応変にやっていただきたいというわけです。

特に重点事項としまして、4項目を挙げました。そのうちの一つに「調和の奉仕」があります。奉仕の中に、いわゆる「超我の理念」に基づくところの人道奉仕、一般的に社会奉仕と言われている分野があります。これに対するものとして「職業奉仕」があります。職業奉仕の考え方は「最良奉仕の最多果報」であります。これは、最もよい奉仕をする者が最も多く報われるという考え方で、その考え方に基づくのが「職業奉仕」という分野です。つまり、職業奉仕は、最良奉仕、最善の努力によって、

### 行事のご案内

10月8日(水)の例会は外部卓話と入会式です。

講師:洋画家 田村能里子さんをお招きします。

演題「赫い糸を紡いで」 会場 17F「コスモス」

最上の質のサービス・物を提供するという事です。

ロータリーの奉仕の理論は、「我と彼」、「我と我以外」、「我と社会」と言ってもいいですね。その間の衝突、利益の衝突、欲の衝突、あるいは権利・義務、そういう衝突の調整、緩和を中心にして、「我」をどうするかということ。その「我」を中心にして理論が組み立てられておるわけです。ですから「超我の奉仕」というのはなかなかいい表現ですね。自分を超えよう、それで社会を変えよう、社会に尽くそう、もっぱら社会の利益です。職業奉仕はどうかというと、最良奉仕の最多果報ですから、いい奉仕をすればいい報いがある、するほうも、されるほうも利益になるような、調和のとれた奉仕です。けれども最良ですから、そこだけちょっと厳しい。質的に最良のもの。質的にというのは、物理的な質、品質の問題が出てくし、倫理的な質も含まれているわけです。倫理的な難しさは、職業奉仕の中で難しいわけです。

職業奉仕は「我」というキーワードを使うとどういう表現になるか。——「彼我の奉仕」彼も私ももうかりますよ——というように表現できます。

それで私は、こういう奉仕をロータリアンがするうえで、まず自分を高めること、人間自体を高めることが、ロータリーの目的としてあってもいいんじゃないかと思うわけです。人間を高める、人格を研鑽陶冶する、人格を向上する、人間を向上する、そういう分野を、ロータリアンの目的として明確に掲げなければいけないと思っております。

RCのメンバーには、素晴らしい人格者が揃っております。それが一つのステータスであり、ロータリアンの自負でもあるわけです。外形だけではなく実を伴う、その「実」をロータリーが意識的に、目的として取り上げていくことが、私は必要ではないかと思えます。

ということで、それを「我」のキーワードで表すと何の奉仕と言うか。自分のためだけにする奉仕でありますので、ただ我のための奉仕、「唯我の奉仕」という言葉で表すことができるのではないかと思います。

今日は、ロータリーの姿形を絵に描いてみたいと思うわけでありまして。「超我の奉仕」という社会奉仕の部門がある。真ん中に「彼我の奉仕」と呼ぶことができる職業奉仕があります。それでもう一つ、「唯我の奉仕」という、自己奉仕の部門がある。なぜ、社会奉仕と、その対極にある自己奉仕の間に職業奉仕が入ってくるのか。それは、RCがそれぞれの職業を持ったかたがたが会員であるということです。社会と個人と接する一番大きな面は職業です。そういう関係ですので、やはり社会と個人との間にあって、それをロータリーが云々するのは必然であり、正鵠を射ていると考えられます。「調和の奉仕」はこの三



つを、調和よくロータリーの中で育て上げていただきたいという思いが入っているわけです。

もう一つ、「調和の奉仕」と言っても、奉仕だけの調和ではない。奉仕以外のロータリー活動ともバランスよく調和させていただきたいというのが、その次のことあります。今日は「我らの生業」を歌っていただきました。「我等の生業さまざまなれど 集いて図る心は一つ」ものすごくいい対比になっております。「求むるところは平和親睦 力むるところは向上奉仕」これも対句ですね。「平和」は心の平安です。求めるところは心の平安と親睦ということですね。「力むるところ」、義務としてやらなければいかんのは向上、奉仕だと言っているわけです。「平和親睦」では、「平和」は一人の心の状態ですね、心の平安を求める、これは自分自身のことです。ところが「親睦」は、私と彼との間、人と人との間にできることです。「向上奉仕」も、「向上」は、自分自身の向上。「奉仕」は、他人があってはじめてできる。ほんの四字の言葉の中に対比がきちんとあるんですね。内容的に、非常にロータリーの核心をつかんでおります。

我々はロータリーに入ったときから、奉仕と親睦は2本柱で、両輪の輪のごとくで、一方を欠いてはだめなんだ、両方とも重要な活動ですよということを教わっております。奉仕は前輪、親睦は後輪。奉仕は目的、前輪ですからハンドルに直結していて、ロータリーを目的へ導いていきます。親睦は後輪でエンジンにつながってますから、ロータリーを押ししていく活力になります。その活力の中から奉仕の心が生まれて、奉仕をしましようという関係にあるわけです。

親睦のほうが、目的として重要じゃないかという人がいます。けれども、親睦は楽しいものです。目的にしなくても、親睦にみんなが寄ってくるんです。ところが目的となりますと、それは厳しいもの、つらいもの、嫌なものです。ロータリーの奉仕もそうです。社会奉仕にどうしてもお金をださなきゃいけないわけです。でも、奉仕を目的とした場合は、それを実現した場合の喜びがものすごく大きいわけです。

三つの奉仕の下に親睦という土台があるというお話を致しましたが、その下にもう一つ、岩盤みたいなものがあり、それが例会への出席です。そういう図がロータリーの姿として書けると思えます。それを皆さんに、皆さんの考えで、そういう図を頭の中で描いていただきたいと思えます。

## 東南経済同友会報告・優勝福島

### ●福島 啓氏

去る9月17日、名古屋駅前前の琥珀において東南経済同友会（麻雀会）が開催されました。私は約一年ぶりの参加でしたがはからずも優勝の栄に浴しました。

当日は、3卓12人、ビール飲む人、寿司やつまみを食べる人、飲食自由、発言自由で楽しみ且つ闘いました。山内さんや牧野さんの冗談を聞きつつ、私はビールは飲まず、寿司を食しながらうちました。当初、低空飛行を続けていましたが、親満一発で一気に浮上し、その後もマイナスとならずに結果、本当に久しぶりに優勝しました。二位の牧野さんとは600点の僅差でした。

成績は次の通りです。

優勝	福島 啓氏	+1万6200点
2位	牧野 弘明	+1万5600点
3位	鬼頭 弘	+7700点
B B	伊藤 和夫	-1万0400点

